

# News Release

## 国立がん研究センターと がん情報の普及啓発に向けた包括的連携に関する協定を締結

～ 2月4日の世界がんデーにあわせて、農家・組合員、地域住民に啓発活動を実施 ～

J A 共済連 (全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 勝瑞 保) は、平成 28 年 12 月 21 日、国立研究開発法人 国立がん研究センター\* (理事長 中釜 斉、以下、国立がん研究センター) とがんに関する情報提供について包括的連携協定を締結しました。

※ 国立がん研究センターは、1962 年に我が国のがん医療・がん研究の拠点となるナショナルセンターとして設立され、「社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療を提供する」ことを理念に活動しています。

### 《協定締結の目的》

がんは、国民の 2 人にひとりが罹患し、死亡原因の第 1 位となっており、今や国民病ともいわれるほど、日本人にとって身近で重大な疾病となっています。

こうした現状を踏まえて、J A 共済連では、農家・組合員や地域の皆さまに向けて、国立がん研究センターが有する情報を積極的に発信し、がんに関する正しい知識の修得やがん予防による健康寿命の延伸、またがん患者とそのご家族の不安軽減や生活の質の向上などの支援を行い、農業振興・地域振興につなげます。

### 《主な取組み》

がんに関する正しい情報に触れていただく機会として、世界各国でがんに関する啓発行事が行なわれる 2 月 4 日の「世界がんデー\*」にあわせて、チラシ等を作成・活用し、J A 窓口や L A (ライフアドバイザー) を通じて、農家・組合員または地域住民の皆さまに、がんに関する情報提供を行ないます。

※ 「世界がんデー(World Cancer Day)」は、毎年 2 月 4 日にがんへの意識向上と予防、検出、治療への取組みを促すために、国際対がん連合(UICC) が定めた記念日。

### 【J A 共済オリジナルチラシ等について】

国立がん研究センター協力・監修のもと、がんに関する統計データや正しい知識を得るための情報サービスのご案内等を掲載した J A 共済のオリジナルチラシを作成し、全国の J A 窓口での配付や、L A (ライフアドバイザー) が農家・組合員を訪問した際などにはタブレット端末 (Tablet's) に格納した同チラシを用いて、がんに関する情報提供・注意喚起を行ないます。

また、J A 共済オリジナルチラシのほか、国立がん研究センターのがん対策情報センターが作成したチラシ「がんのことならがん情報サービス」を全国の J A 窓口等でお配りします。

＜JA共済のオリジナルチラシ＞

## 他人事ではない **がん**を知ろう!

現在日本人は、一生のうちに**2人に1人**はなんらかのがんにかかると言われています。  
「自分や家族は大丈夫」とは言えない病気です。

**男性**

がんになる確率  
生涯では **約63%**

がんで死亡する確率  
生涯では **約25%**

**女性**

がんになる確率  
生涯では **約47%**

がんで死亡する確率  
生涯では **約16%**

2012年データに基づく最新集計(厚生労働省がん登録センター)

### 男女それぞれの『かかりやすいがん』を見てみましょう!

**2012年の診断された数が多い順位\***

**男性**

- 1位 **胃** (9人に1人)
- 2位 **大腸**
- 3位 **肺**

2012年の診断された数が多い順位\*

**女性**

- 1位 **乳房** (11人に1人)
- 2位 **大腸**
- 3位 **胃**

診断された数の多い部位である「胃」も、早期のステージ(病期)に治療をはじめれば、1期だと5年生存率は92.9%と高い数字になっています。

乳がんは「周りでよく聞くし心配」という方も多い病気ですが、早期のステージ(病期)に治療をはじめれば、1・2期だと5年生存率は94%以上になっています。

※1 2012年データに基づく最新集計(厚生労働省がん登録センター)  
 ※2 5年生存率(5年生存率とは、がんを診断された日から5年後まで生存している患者の割合を指します。がん以外の死のリスクを考慮した生存率です。)  
 ※3 国立がん研究センターがん診療連携拠点病院院内がん登録2012年5年生存率集計結果より

早期発見をすることで、がんは治る病気だと考える時代になってきました。  
がんは「自分」だけでなく、「大切な人」の身に起こることとしても考えておきたいことです。

表面

## もしものがんには、正しい知識や情報が力になります 知ることからはじめましょう

国立がん研究センターのサービスをご活用ください。

### がん情報サービス

がんについての正しい情報をわかりやすく紹介しています。



### がん相談支援センター

全国の「がん診療連携拠点病院」等に設置されているがんに関する相談窓口です。

治療の不安  仕事の不安  お金の不安

▶ **どなたでも無料で相談**できます。

がん情報サービス サポートセンター **0570-02-3410** (平日10時～15時 ※相談は無料ですが、通話料は発生します。)

詳しくはホームページをご覧ください。 URL <http://ganjoho.jp> [がん情報](#) [検索](#)

正しい情報発信を通してできることからひとつひとつ取り組んでいきます。



国立がん研究センター  
National Cancer Center Japan



JA共済

国立研究開発法人 国立がん研究センター <http://www.ncc.go.jp/jp/>

JA共済 <http://www.ja-kyosai.or.jp/>

裏面

＜がんのことならがん情報サービスチラシ＞

① それぞれのがんの解説

② 病院を探す

③ 療養生活に役立つ患者必携

治療・予防・病院探しに  
**がんのことなら**  
**ganjoho.jp**

「がん情報サービス」は、国立がん研究センターがん対策情報センターががんの情報を発信しているウェブサイトです。患者さんやご家族の方をはじめ、一般の方や専門家に向けて、がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介しています。ぜひご利用ください。

ウェブサイト「がん情報サービス」  
<http://ganjoho.jp>

お電話でも相談できます  
**0570-02-3410** (がん情報サービスサポートセンター 平日10時～15時)

④ がん情報サービス

⑤ がん情報サービス

⑥ がん情報サービス

⑦ がん情報サービス

⑧ がん情報サービス

⑨ がん情報サービス

⑩ がん情報サービス

⑪ がん情報サービス

⑫ がん情報サービス

表面



① それぞれのがんの解説  
がんの種類によって治療法や生活の過ごし方などが異なるため、医師・看護師、治療などその病状で必要と思われる情報を取り入れて解説しています。

② 診断・治療  
がんとは何か、がんの種類や治療法、最新治療について解説しています。その他、治療費やがん検診の重要性やがん予防の必要性なども掲載しています。

③ 生活・療養  
最新治療に伴う副作用や生活の質(QOL)など、日常生活の助けとなる情報を紹介しています。

④ 予防・検診  
科学的根拠に基づいたがんの予防や検診について、また、がん検診の必要性と時期について詳しく説明しています。

⑤ 資料集  
がん対策情報センターが作成した冊子のPDFダウンロードができます。その他にがん検診やがん予防の最新の資料や記事も掲載しています。

⑥ がんの相談  
「がん相談支援センター」の役割や予約のしかた、相談料などについて詳しく説明しています。

⑦ がんに関する用語集  
がんの用語集を掲載し、用語の意味をわかりやすく解説しています。

⑧ がん検診・統計  
がん検診の重要性やがんの発生率、死亡率などの統計データを掲載しています。

⑨ がんと生活  
がんが生活に与える影響や、生活の質(QOL)を向上させるための方法を解説しています。

⑩ がん関係者向けサイト  
医療従事者やがん研究関係者向けに、最新の研究情報や治療法に関する情報を提供しています。

⑪ がん情報サービス

⑫ がん情報サービス

裏面

J A 共済連では、今後も本協定の目的を踏まえて、農家・組合員、地域住民の皆さまの健康な生活づくりに貢献する様々な活動に取り組んでまいります。

以上